

結成20周年
新たな大躍進
に向け出発!

日刊動労千葉

国鉄千葉動力車労働組合

〒260-0017 千葉市中央区要町2番8号 (動力車会館)
電話 (鉄電) 千葉 2935・2939 番
(公) 043(222)7207 番

2000. 2. 4 No. 5083

2000年春闘勝利へ!

第42回定期委員会で闘う方針うち立てよう

第四二回定期委員会が二月十九日十三時より労働者福祉センターにて開催される。本定期委員会は二〇〇〇年春闘勝利・組織拡大を中心とする二千年の、特に前半期の闘いの方針を決定し、ただちに全組合員の総決起・総行動をつくりあげるための重要な定期委員会である。委員はもとより多くの傍聴者の結集で委員会を圧倒的に成功させよう。

「組織拡大春闘」に総決起しよう

本部は一月二六日に第四回執行委員会を開催し、二〇〇〇年春闘の骨格を決定した。定期委員会の真摯な討論を通し、方針をよりいっそう力強く練りあげよう。【位置づけ】として、今春闘を「組織拡大春闘」と位置づけ、【構想】として崩壊の危機にあえぐ東労組・革マル解体に全支部で立ちあがり、組織の拡大をかちとることを軸に、日経連の賃下げ・リストラ攻撃を粉碎し、大幅賃上げ獲得・貨物の超低額回答打破をめざして闘う。

さらに反合・運転保安確立、六五歳まで働ける労働条件の確立と不当労働行為根絶等の諸課題の解決をもとめ闘う。

▼職場集会で意志統一を固めよう▲

第一段階として、全支部は職場集会、非番者集会を開催し(二月七日～二月末)、春闘、組織拡大を軸に一〇四七名問題、シニア問題等について全組合員の意志統一を図る。

第二段階として、春闘学習・交流集会(二月二六～二七日・熱海)を成功させ、闘う労働組合の全国ネットワークのさらなる発展をかちとる。

第三段階を決戦段階として総決起集会を開催し、ストライキを配置して闘う。特に貨物超低額回答打破を全体の課題として全力で立ちあがる。

好機逃さず「JR総連解体・組織拡大」に起とう

全支部で職場集会・討議を

既に日刊「五〇八二号」で報道した通り、東労組・革マルは、彼らが危機に直面すると必ず持ち出す「謀略論」をまたもや持ち出し、騒ぎ始めている。

加えて千葉においては、「平和共存打破」などと称し、東労組組合員の中で国労やJR連合の組合員と付き合っている者を「組織破壊分子」とレッテルをはり、つるしげている。

津田沼では「親睦会」解散を一方的に宣言し、動労千葉や国労等の総ての猛然とした糾弾を受け、みずから首を締める結果を招きつつ、もがいている。

そして事態は千葉運転区、成田車掌区等々でも起きており彼らの矛盾と亀裂は、もはや修復不可能にまで達している。

JR体制の元凶・結託体制は完全に末期症状そのものである。東労組・革マル解体、

組織拡大の機は熟した。いまこそ反転攻勢を強めようではないか。

いざ、21世紀展望する闘いの勝利へ

この闘いを第一義的課題として、それらと結合し、新安保ガイドライン―戦争法の発動を許さない労働者の戦争協力拒否、そして反戦・反安保の一大拠点、沖繩、闘争圧殺のための沖繩サミット反対、普天間基地の名護移設反対を闘う沖繩県民と連帯し、闘いぬかなければならない。

二十一世紀の帰趨を決する今年二〇〇〇年に勝ちぬくためにしっかりと団結を強めよう。そのためには全支部は職場集会、職場討議を深めよう。第四二回定期委員会を圧倒的に成功させ、二〇〇〇年春闘に突入しよう。

第四二回定期委員会

とき 二月十九日(土) 十三時
ところ 千葉市・労働者福祉センター